

D P C対象病院を目指した当院のD P Cコーディング委員会の取り組み

社会医療法人社団沼南会 沼隈病院
診療情報管理士 岡崎 しのぶ

《抄録》

【はじめに】当院は一般病棟7：1、地域包括ケア病床、療養病棟を有した地域の中核病院である。平成26年度よりD P C準備病院としてD P C調査に参加し、平成28年度からのD P C対象病院を目指した当院のD P Cコーディング委員会の取り組みについて報告する。

【委員会メンバー構成】院長、医局長（内科）、医局（外科）、看護部長、病棟師長（一般病棟、療養病棟）、薬剤師、リハビリ療法士、事務部長、診療情報管理士

【主な取り組み議題】

- （1）D P C制度について、病名分類・再入院ルール・他院受診等の紹介。
- （2）後発医薬品指数について、薬剤部を中心とし後発医薬品への切り替えを実施。
- （3）救急医療指数について、入院2日目までに必要な検査等を行うよう繰り返し説明。
- （4）D P C分析システムを使った症例分析：まずは当院で最も多い肺炎より着手、経営への影響が大きい高額薬剤の使用症例、減収額の多い症例の分析発表を毎月継続。
- （5）コーディング比較：同じ病名でも間違った診断群分類する事がどれだけ経営に影響するかを発表。
- （6）病棟運用と転院患者の受け入れについて、各病棟での出来高・包括項目から、入棟患者の選定について検討。
- （7）管理料算定について、管理料算定向上に向けた算定マニュアルの整備。

【まとめ】D P C委員会の活動と、その活動を医局会にて報告する事を継続する事で、医局、病棟看護部をはじめとする多部門へのD P C病院へ向けた意識・行動改革を行うことができ、在院日数の短縮や減収症例の減少へと繋げることが出来た。今後は事務職員の知識・能力向上とD P C業務運用手順の整備等の課題を残しており、さらなる活動を続けていく。



社会医療法人社団 沼南会 沼隈病院 概要



沼隈病院 理念

私たちは急性期医療から在宅医療までのトータルケアで、地域のみなさまの健康と安全な生活を支援します。



【地域の背景】

沼隈周辺地域
人口 約1万7千人弱
沼隈周辺高齢化率
(65歳以上)
約31%

一般病棟
一般病床 48床
地域包括ケア病床 12床
療養病棟 58床

広島県福山市沼隈町中山南469-3
TEL(084)-988-1888 Fax(084)-988-1119
<http://shouankai.or.jp/>



委員会メンバー: 院長、各診療科医師、看護部長、病棟師長
薬剤師、リハビリ療法士、事務部長、診療情報管理士



病名分類・コーディング その①

基本のDPC樹形図の仕組みから説明

まずは1入院に1診断群の決定から。
病名の分類で何がかわるのかをご説明
します。

Point !

実際の症例で
DPC樹形図の
仕組みを説明

金額を挙げて説明する
ことでインパクトも大きく、
効果的に伝わる





病名分類・コーディング その②

ステップUPLして係数への影響も紹介

Point !

病名分類が変わると...
金額だけでなく、入院
期間の設定も変わる！

入院期間が適正化
されれば効率性係数
にも影響！

当院で最も多い肺炎は、全国的にも
症例数も多く、改善の影響大！



症例分析

Point !

改善すべき減収額の
大きなインパクトのある
症例を毎月報告

お手本にする増収
症例も報告

基本は1入院に1疾患の治療と、管理料
をしっかりと算定することも大切です！





管理料算定について

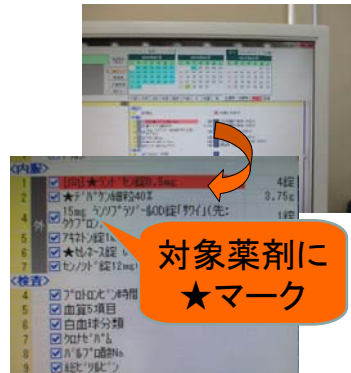
Point !

管理料をもれなく算定出来る環境を整えました

算定マニュアル整備

- ・薬剤管理指導料
- ・特定薬剤治療管理料
- ・特別食加算

電子カルテシステム改良



DPCルール指導

7日以内再入院

病棟運営

手術薬剤

他院受診

手術に必要な薬剤は手術中に
施行する事が必要です！



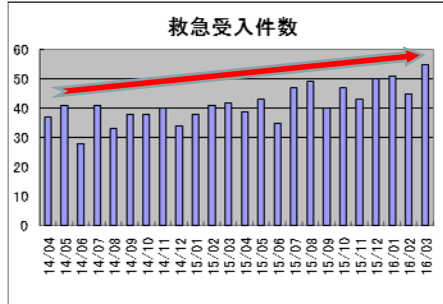


係数UP対策 その①

救急医療係数

Point !

救急車を断らない
↓
救急受入件数UP



救急医療管理加算の算定マニュアルを作成

検査は入院2日目までにしてください！



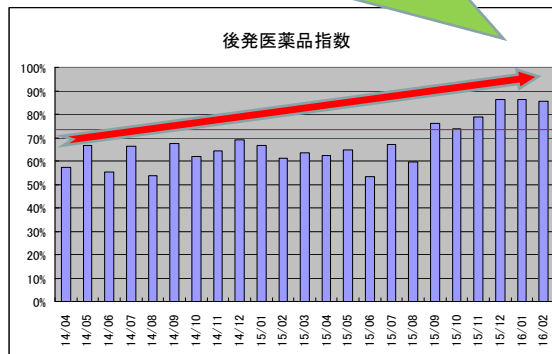
係数UP対策 その②

後発医薬品係数

Point !

薬剤部が主体となり使用量の多い薬剤から後発品へ切り替え

開始当初57%が現在は80%超へ大きく改善！





機能評価係数

結果

広島県12番目
全国で489番目
と高い評価に！

係数項目	計数値	
	当院	全国平均
保険診療係数	0.00806	0.00805
効率性係数	0.00315	0.00725
複雑性係数	0.01573	0.00835
カバー率係数	0.00292	0.00592
救急医療係数	0.01638	0.00794
地域医療係数	0.00267	0.00652
後発医薬品係数	0.01058	0.00812
重症度係数	0.00536	0.00720
合計	0.0648	0.0592



総括

何をどうしていかなければいけないか？
具体的な行動指標を示した発表を継続することで
変化が生まれた！

機能評価係数UP

円滑な病棟運営

在院日数ダウン

職員の
意識・行動
改革!!

